

立候補ご予定者さまお名前: 田原隆雄

### 【質問票】

- (1) 国際目標である「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に向けて、SDGs 未来都市の制度活用など、民間とのパートナーシップで積極的な取り組みを新市政ですすめられますか？

はい ・  いいえ ・  その他

詳細:

- ① アマモ場再生事業による豊かな海づくりの推進を日生町漁協、おかやまコープ、日生中学校生徒と実践しており、市としても支援している。  
② 3月29日に民間企業と「SDGsの推進に関する包括連携協定」を締結し、CO2削減をはかるために太陽光発電等の自然エネルギー発電の研究実施を行ってまいります。

- (2) 地域の様々な課題解決には民間との協働が重要です。そのためには協働のルール作りや部署を超えた連携が重要です。条例、指針、ガイドラインなど協働の仕組みづくりに取り組まれますか？

はい ・  いいえ ・  その他

詳細:

市民、市及び市議会が一体となって暮らしやすいまちづくりを実現するための「備前市まちづくり基本条例」に基づき、「備前市協働事業提案制度実施要領」を設け、自治体や企業などと課題解決に向けた取り組みを行っております。

- (3) 総務省が推進する概ね小学校区を単位とした小規模多機能自治ともいわれる地域自治の仕組みづくりの推進や、地域運営組織の設立・事業支援などを積極的に新市政ですすめられますか？

はい ・  いいえ ・  その他

詳細:

小学校区単位の地域内に各種各階層の代表者による「まちづくり会議」という組織を設立し、地域の課題を共有と解決に向けて活動するために地域担当職員(市職員)を設置している。

- (4) 平成30年7月豪雨災害を契機に設立された民官連携の全県的な仕組み「災害支援ネットワークおかやま」との連携など、災害時の民間との連携について積極的に新市政ですすめられますか？

はい ・  いいえ ・  その他

詳細:

民間との災害協定は、電力供給事業者や社会福祉施設等と積極的に行っています。今後も災害発生時等に積極的協力が頂けるよう、締結会員の拡大を図ってまいります。

- (5) 域内の小中学だけでなく、高校・大学も含めた地域学の推進や地域コーディネーターの配置など、地域人材を育て、若者の定着や還流を目指す取り組みを新市政ですすめられますか？

はい ・  いいえ ・  その他

詳細:

備前市は、岡山県立大学が中心とした「雇用創出・若者定着に係る連携協力に関する協定」を3月17日に締結し、岡山県における若者の地元就職と地域の活性化に向けた取り組みを「吉備の社創造戦略プロジェクト」で進めていきます。又、地元備前緑陽高等学校とは、今年度新たに「学校運営協議会」を設立し、連携・協働した教育活動に取り組むこととしており、生徒たちが市主催の会議への参加や地域交流等により、学校の魅力発信と将来的には備前市定住者増を目指します。

質問は以上です。ご回答ありがとうございました。